

# ディベート記録用紙

テーマ ウモロコシを原料としたバイオエネルギーの組 1 班 記録者名 \_\_\_\_\_

利用はよいことである

	肯定派	否定派
立論 (前もって記入のこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の一つとしてバイオエネルギーを使うことが政府でも言われている。</li> <li>化石燃料の代わりとして使える。</li> <li>二酸化炭素を排出量が0である。</li> <li>ここ数年穀物の生産量が増えている。</li> <li>世界各国でエタノールが使われている。</li> <li>生産農家の需要が増えて取り引き価格があがる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ燃料を作るために他の食料の価格の上昇</li> <li>とうもろこしの価格の上昇</li> <li>バイオ燃料生産コストが上がる</li> <li>二酸化炭素よりも温室効果が310倍も高い亜酸化窒素が発生してしまうので更に地球温暖化を促進させてしまう恐れがある。</li> </ul>
質疑	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料価格の上昇の原因は食用とバイオ用で区分すればよい</li> <li>中国の広大な土地を改良することによってがけつされるのでは</li> <li>バイオマス用の遺伝子組み換えを作ればよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素は0だが亜酸化窒素が出てしまうことについて</li> <li>大切な食料を環境問題のために使ってしまうのは良いのか。</li> <li>飼料不足について</li> <li>バイオエネルギーのコストは高いが大量のコストを払ってまで作るメリット</li> </ul>
反駁	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物が光合成をするときに二酸化炭素を吸収してくれる</li> <li>価格上昇についてはそれ専用の遺伝子組み換えを作ればよい</li> <li>とうもろこしのバイオエネルギーを作ることによってとうもろこし農家が環境ビジネスの一員になれる、働き口のない人に仕事を与えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料価格の上昇のために区分してしまうと自分たちの食糧がなくなってしまう可能性がある</li> <li>中国の土地改良については中国の土地だけでは不十分中国が独占して更に問題になってしまう可能性がある。</li> </ul>

グループの反省 (準備～ジャッジ結果) 練習する時間が少し少しかつたです。準備から本番まで、協力することができました。本番中も、検討時間で十分に話し合いができ、3分という時間を有効に使えました。今回のディベートの授業を通して、協力する力、時間内で自分たちの課題を

※記録係は書き上げたものを先生に提出し、班全員はコピーを受け取ってノートに貼ること。終わらせることの難しさを知ることができ、また効率よく物事を片付ける方法を考えることができました。肯定側のさまざまな意見を知ることができ、また違った角度から物事 <sup>様</sup>ではをとらえる力を身に付けられたと思います。